

薬草園かわらばん

皆さ～んちょっと覗いてみませんか？
草木に囲まれ心も体もリフレッシュ・・・



2017年
10月1日
第26号



ワタ (アオイ科)

綿(木綿)の繊維をとる植物の総称。古代より種々の品種を交配させて品種改良され、リクチメン、カイトウメン、アジアメンがよく栽培されています。前2者は繊維が長く紡績に適しており、アジアメンは繊維は短いが強度があり布団に用いられています。

薬用では繊維を脱脂綿とする他、種子から得られる油を綿実油(メンジツユ)として、食用油やマーガリンの原料とされています。又、種子には殺精子作用のあるゴシポールを含み、男性不妊の原因となります。もちろん、市販されている綿実油は、精製してゴシポールは除かれています。



シャクチリソバ (タデ科)

温室前の池へ向かう水生植物区入口付近に三角形のやわらかな葉がしげり、白い小さな花が咲き始めています。

中国原産の多年草で別名ヒマラヤソバ。『本草綱目』にある「赤地利」が、本種であることを牧野富太郎が推定、その読みから命名しました。葉の根本が赤いことからの名のようなのです。『本草綱目』では、葉や根茎を解熱、止瀉を目的に使うそうです。

種子はえぐ味が強く食用には適しません。葉は食用できます。通常のソバよりも、ルチンを多く含みます。

今、こんな草木が楽しめます
待ってまーす！！

薬草園ボランティアグループ